

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2019年(平成31年)1月1日 《年6回・奇数月発行》

会報 第104号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#) [検索](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) [検索](#)

「夢ホーム・里子訪問の旅」に会員16人が参加

11月8日～14日、今年最後の「夢ホーム・里子訪問の旅」が行われ、16人の本会会員が参加した。通算40回の旅だった。

旅の参加者で構成する「夢ホーム・里子訪問の旅実行委員会」が主催、本会は側面からサポートした。

8日、午前中成田国際空港に集合、ANA直行便で一路カンボジアの首都プノンペンへ。

9日、「中央大学附属中学校」の皆さんが寄贈した井戸の贈呈式に参加、生徒たちに学用品を配布し、しばし交流した。

10日、悲劇の跡地視察として「トゥールスレン博物館」と「キングフィールド」を見学、内戦時代の写真を多数展示したレストラン「FCC」で昼食した。オプショナルツアーとして3人が「アンコールワット観光」に参加した。

11日、本会が運営する児童養護施設夢ホーム(児童数110人)を訪問、子どもたちと交流した。ホテルに戻る途中、カンボジア最大の「セントラルマーケット」で買い物した。

12日、2班に分かれ村で暮らす教育里子を訪問、里親を中心に教育里子と交流した。

13日、小学校の授業参観コースとプノンペン市内観光コースに分かれて活動した。午後は自由行動とした。

その夜にANA直行便で帰国、14日の早朝成田国際空港に着き実行委員会を解散した。



参加者の皆さん



教育里子の家を訪問しました

交通遺児になった教育里子

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

11月20日、家庭状況の詳細を里親に知らせるため、新しい教育里子の自宅を訪問した。メン・メイメイちゃん6歳、小学校1年生。

実は訪問の3日前、父親(27歳)が交通事故で死去、葬式を終えたばかりだった。

母親は離婚して家を出、既に再婚しているという。兄弟はなく身寄りは父方の祖母のみ、メイメイちゃんは一人ぼっちになったしまった。

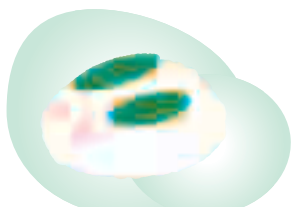
たまたま日本から持参したぬいぐるみを差し上げたらずっと抱きしめていた。好きだったお父さんの化身と思っただろうか。

不幸中の幸い、すでに教育里親が確定しており、これからは日本の里親さんがメイメイちゃんを励まし、支えてくれることだろう。

2003年に「クメール教育里親基金」を創設し丸16年が経った。創設当初に教育支援

した子どもたちは大きく成長し、立派な社会人になり活躍していることだろう。

今もなお400人近くの貧しい子どもたちを教育支援している。一人でも多くの子どもたちを教育支援して頂けたら嬉しい。



メイメイちゃん(右)

「笠懸ライオンズクラブ」が井戸とトイレ棟寄贈

11月21日、26日、笠懸ライオンズクラブ(群馬県みどり市・本間誠一会長)の皆さん(9人)がカンボジアを訪問した。

22日、コンボンスプー県

寄贈したトイレ棟の前で生徒たちと



その後、本間会長が教育支援する里子の家を訪問、お米を2袋贈った。

午後には児童養護施設「夢ホーム」を訪問、子どもたちにお菓子をプレゼントした。

23日、一行はシエムリアップへ渡り、アンコールワット観光などを楽しんだ後、25日夜のANA直行便で帰国した。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば 73 年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さん、ありがとう

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳
子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。
(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

寄贈した校舎などの 再点検プロジェクト(第3回)

11月16日、平古場副理事長と及川副理事長が、本会が過去に校舎と井戸を寄贈した小学校をアポなし訪問、現状をリサーチした。

【訪問した小学校】サンテピアップ平和小学校(コンボンスプー県コンピセイ郡・生徒数350人)、2006年12月に東京都内在住の会員さんが5教室の校舎を1棟寄贈。また同時に新潟市在住の会員さんが井戸を1基寄贈。

【点検の所感】

外壁塗装がはがれており、再塗装が必要。井戸は稼働していた。校内にゴミが散乱していて、あまり良い印象がなかった。



外壁塗装が必要な平和小学校校舎

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在、11歳～15歳の男女10人が暮らし、近隣の小・中学校に通学しています。

■11月11日、「夢ホーム・里子訪問の旅」に参加した会員14人が訪問、お米、学用品、衣料品などを寄贈してくれた。

■11月22日、「笠懸ライオンズクラブ」の皆さんが訪問、一人ひとりにお菓子セットをプレゼントしてくれた。

■高校3年生のリ・マクちゃん(女)が事情により退園、自宅のあるシェムリアップへ帰郷した。



「夢ホーム・里子訪問の旅」の参加者と楽しく交流

カンボジアの小学校に3つの井戸が完成

11月9日、「夢ホーム・里子訪問の旅」の中で、「中央大学附属中学校」(東京都小金井市)の皆さんが「トゥールソヴォン小学校」(コンボンスプー県、生徒数=123人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。

11月17日、上山陽子さん(奈良県大淀町、法人監事・里親会員)が「マレッチ小学校」(プレアビビア県、生徒数=133人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。根岸理事長と遠藤啓さんが出席した。

11月22日、「笠懸ライオンズクラブ」(群馬県みどり市)の皆さんが「アンズドック小学校」(コンボンスプー県、生徒数=550人)に寄贈した井戸の贈呈式を行った。同クラブの皆さん(9人)が贈呈式に出席した。



笠懸ライオンズクラブ様寄贈の井戸



上山陽子様寄贈の井戸



中央大学附属中学校2017年度白門祭バザー班様寄贈の井戸

11月に完成した井戸の内訳

	寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1	中央大学附属中学校 2017年度白門祭バザー班様	トゥールソヴォン小学校	123人	コンボンスプー県
2	上山 陽子様	マレッチ小学校	133人	プレアビビア県
3	笠懸ライオンズクラブ様	アンズドック小学校	550人	コンボンスプー県

※通算の井戸設置数(2003年～): 330基 (11月現在)

平田小学校生徒が描いた絵画を受け取ったタメイ小学校生徒たち



「タメイ小学校」の生徒たちが描いた絵画は、1月に「平田小学校」へ届け予定。

タメイ小学校と 平田小学校の絵画交流

11月15日、及川英博副理事長が、夢ホームの子どもたちが通う「タメイ小学校」(コンボンスプー県チュバモン郡、生徒数1550人)を訪問、絵画交流している「平田小学校」(岩手県釜石市)の生徒たちが描いた絵画を届けた。

訪問に際し、及川副理事長が

チヨークと縄跳びを学校に寄贈し

た。



寺坂さん、ありがとう！

寺坂さんありがとう！

平古場正行副理事長の柔道仲間である寺坂好文様(横浜市在住、講道館柔道七段)が、「夢ホーム里子訪問の旅」の実施に当たり、学用品とお米を寄贈してくださった。

◎11月9日、「トゥールソヴォン小学校」の生徒たちに学用品セットを130人分。

◎11月11日、「夢ホーム」の子ども

たちにお米6袋。

「マレッチ小学校」 新校舎の建設工事 進行中

「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区、石川幸夫代表)の資金協力で9月に着工した「マレッチ小学校」(プレアビビア県スロヨン郡マレッチ村、生徒数1133人)の新校舎(3教室)建設作業が順調に進んでいる。

11月17日、根岸理事長が現場を訪問、建設状況を視察した。

工事は1月中旬に終了、2月15日に同会の石川代表が出席し、新校舎の贈呈式を予定している。



着工したマレッチ小学校新校舎

授業参観の様子



「夢ホーム・里子訪問の旅」の日程の最終日に、コース選択の一つとして小学校の授業参観を組み込んだ。訪問先は、宿泊先の「ミトホテル」から歩いて5分の「ワットコフ小学校」。お寺の中にある大きな小学校だ。

10人のツアー参加者が約1時間ほど授業を参観、熱心な生徒たちの姿勢に心打たれるものがあった。



「ワットコフ小学校」の授業を参観

さて、何を売っているのでしょうか？

プノンペンとシェムリアップを結ぶ国道6号線沿いでよく見かけます。一体何を売っているのでしょうか？

(答えは4ページ下段の事務局便りにあります)

《夢ホーム》第38回 鑄造によるアクセサリー 作り技術講習会



初参加した夢ホームの子ども

年長の高校生2人が退園したため、中学生4人が初めて参加した。

次回開催日は未定。

横戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は隔月にカンボジアを訪問、夢ホームにある工房で、夢ホームの子どもたちを対象に「アクセサリー作り技術講習会」を開催している。

第38回講習会を11月20日～23日に開催した。

関連活動アラカルト

10月22日～24日、宮川公子さん(宮城県、里親会員)がコンボンスプー県内の2つの小学校で、鍵盤ハーモニカによる音楽指導をしてくださいました。高齢により今回が最後の音楽指導になりました。

11月6日、宮崎智子さん(福岡県、里親会員)が、ご自身が教育支援する里子を訪問してくれました。

11月14日～15日、上山陽子さん(奈良県、法人監事・里親会員)がコンボンスプー県内の小学校で、鍵盤ハーモニカによる音楽指導をしてくださいました。

11月14日、遠藤啓さん(静岡県、会員)と佐藤たず子さん(千葉県、里親会員)が、鈴木千雄さん(故人)が生前に寄贈した小学校を訪問、苗木とベンチなどを寄贈してくれました。

11月8日～12月4日、遠藤啓さんは前半プノンペン、後半シェムリアップで小学校を訪問し、集合写真撮影などの活動を行いました。

11月18日～21日、石川桂さん(愛知県、理事・相談役)、木村恵美子さん(大阪府、里親会員)、村田環さん(青森県、里親会員)の3人がカンボジアを訪問、木村さんと村田さんが教育支援する里子の家を訪ねたり、石川さんが寄贈した2つの小学校を訪問しました。

教育里子が通う 小学校紹介(3)

本会が教育支援する小学校はカンボジア国内に27校、小学校を卒業した里子は、その周辺にある中・高校に通学している。里子が通う小学校を順次紹介したい。

《トベンクボス小学校》

◎所在地

コンポンチュナン県サマキーミンチェイ郡コンミリア村

◎生徒の数 1,208人

◎教師の数 19人

◎校舎 5棟

◎歴史 1990年に創立

◎授業形態

午前と午後の二部授業

◎里子の数 8人(11月末日)

◎周囲の環境

人口が多い地域にあり、生徒数も1,000人を超すマンモス校



トベンクボス小学校の先生と生徒

里子への教育支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通う小学校(現在27校)を隔月に訪問、里親から頂いた年会費(1人当たり3万円)の中から、42%に当たる12,600円を年6回に分け、米ドルにして里子にお届けしている。

中・高校に通う里子も出身校の小学校に集まり、教育支援金を渡している。

11月下旬から12月上旬にかけ、10月と11月分を届けた。



教育支援金を届けた様子

クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を亡くしたり、親がいても貧しい環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約390人の子どもたちを教育支援している。

11月8日、14日に行われた「夢ホーム・里子訪問の旅」の中で、3回に分けて里親さんらが里子の家を訪問、プレゼントを渡して里子と交流した。

11月19日、21日、根岸理事長と現地スタッフが里子の家を訪問、日本から持参した里親からのプレゼントを届けた。

ゼントを届け、新しく里子になった子どもの家庭状況などをリサーチした。
11月1日から新学期が始まり、里子たちは元気に通学していた。

教育支援する里子を訪問した里親さん



「グローバルフェスタ JAPAN 2018」に出展

9月29日、日本最大級の国際協力イベント「グローバルフェスタ JAPAN 2018」が「お台場センタープラザロムナード」(東京都内)で開催、本会も出展した。

あいにくの台風襲来により30日は中止になったが、小雨の中広報活動や物販販売を行った。多くの会員ボランティアさんが手伝ってくれた。

ステージでは楽しいイベントが行われた



菊池和雄さんが写真展開催

11月6日、11日、菊池和雄さん(茨城県日立市、会員・カンボジアの子供達に夢と希望を贈る市民の会代表)が写真展を行った。

日立市では毎年「ひたち国際文化まつり」を開催しており、その中で写真展を行った。

会場の様子



者には本会の会報を配布した。会場には沢山の市民が来場し、まつりを楽しんだ。

写真は、カンボジア王国の紹介、文化紹介、水上生活者の村と小学校の紹介、小学校の対抗大会の様子などを、パネルを使い展示した。希望者には本会の会報を配布した。

菅原洋一「チャリティーコンサート」開催

9月30日、「新潟テルサ大ホール」において「菅原洋一チャリティーコンサート」が昼夜2回行われた。「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区・石川幸夫代表)が主催、新津ライオンズクラブが協賛した。

チャリティーコンサートの収益金は、「マレット小学校」(プレアピビア県)の新校舎建設資金に充当される。工事は既に始まっており、2月15日に贈呈式を予定している。

チャリティーコンサートの冒頭に行われた目録贈呈式に根岸理事長が出席した。

また会場ロビーでは、カンボジアから持ち帰ったスカーフやTシャツが飛ぶように売れ残った。新潟市内で働くカンボジア人留学生たちが、販売を手伝ってくれた。

カンボジア人留学生が手伝ってくれた。



鉄欠乏性貧血の予防に役立つ奇跡の魚を特別販売!!

あなたに1つ、カンボジアにあなたの名前で1つ

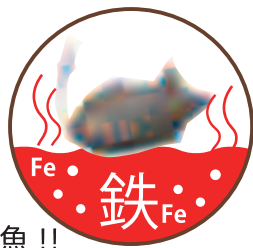
1個ご購入につき、1個をカンボジアの貧血の家族に

One For One

カンボジアの人を貧血から守る鉄の魚

9カ月の利用で貧血が改善!!

医学的にも証明された「鉄の魚」は軌跡の魚!!



カンボジアの人は44%が貧血に苦しんでいます。とりわけ妊産婦への影響は深刻で、早産、流産、死産の原因にも挙げられています。

この「鉄の魚」を鍋に入れて10分間煮ることで1日の摂取量の75%(60~300mg)が放出され、食品や水分に混ざります。これによりヘモグロビンが増え、血液中に酸素がたくさん運ばれるのです。

実験でも、9か月間これを料理に入れることで、利用者の体調も改善された上に、貧血で来院する患者数が50%になり、使用者の血中鉄分量も増加したのです。

実は日本でも14%の人が貧血で、色々な病気を引き起こしています。健康な人でも多くの酸素が運ばれることにより、疲れにくい体になります。

価格は、1個1,000円(別途送料350円がかかります)

《申し込み・お問い合わせは下記へ》

〒956-0801 新潟市秋葉区大蔵738-1

世界の恵まれない地域に小学校を作る会事務局

☎ 0250-22-2000 ファクス 0250-22-0901



料理に「鉄の魚」を入れることで簡単に鉄分補給

投稿 将来は学校の先生!



今回、「夢ホーム・里子訪問の旅」は3回目の訪問となります。

1人目里子の女の子は、小学校5年生で工場に働きに出てしまい、本当に淋しく悲しかったですね。

2人目里子のソピアトラちゃん、最初に頂いた写真から笑顔でしたので、ホッとしたことを覚えています。

5年ぶりの訪問はお母さん、校長先生が笑顔で出迎えてくれました。

7人兄弟の末っ子で、可愛い高校1年生になっていました。

庭には大きなバナナの木があり、毎日バナナを食べているとのこと、「将来は学校の先生」という目標を楽しみにして、これからも支援していきたいと思います。

帰りにバナナのお土産を頂き、会員の方も甘い、おいしいバナナだと好評でした。

今回の旅に参加して良かったです。

里親会員 佐藤たず子(千葉県在住)

大きくなった里子と初対面



春さんのカンボジアレポート

～カンボジアで日本映画祭～

カンボジアでの日本映画祭が、11月16日～18日に開催されました。今年は3月に続いて2回目です。

会場はプノンペンとシェムリアップのシネコン(シネマコンプレックス)。

作品は「未来のミライ」、「ちはやふる結び」、「今夜、ロマンス劇場で」、「いぬやしき、曇天に笑う」、「夜明け告げるルーのうた」、「ミックス、カメラを止めるな!」、「8年越しの花嫁 軌跡の実話」、「祈りの幕が下りる時」、「焼肉ドラゴン」と時代劇、アニメ、青春物、コメディ、ロマンス等々の選りすぐりの12本です。

入場無料、クメール語と英語の字幕付

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)



投稿

開通した空港線に試乗してみました(3)

＝転換期を迎えたカンボジア＝

終点の空港駅は、空港横に面した国道4号線に並列した形で造られていて、列車はそこに設置されたホームに合わせて停車しました。到着の車内放送などありませんが、乗客は当然のようにホームへ降りていきます。が、改札口は空港側にしかないため、道路側に向かう人は当たり前のように改札など無視してホームから降り、線路伝いに出ていきます。

この試乗も何とか無事終点にたどり着けましたが、プノンペンを出発してからここに至るまでの状況を目にしただけでも、新たに開設されたこの路線に決められた時刻表がないことや、自転車程度の速度しか出さない理由に納得

閑散とした車内



得できます。

車を使うと道路の渋滞時には7kmの距離に2時間近くもかかってしまうことを考えれば、この列車は一見価値がありそうです。

しかし、安心してこの路線を利用できるのは、軌道とその周辺の整備が終ってからということになりそうです。(完)

里親会員 佐々木英介(東京都在住)

活動に参加しませんか

正会員として

■教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額

1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額

1万7千4百円(58%)

■個人会員(年額5千円)

■団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座 0160916

【りそな銀行】

練馬支店 普通 4098235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

お年玉募金にご協力をお願いいたします

年末年始にあたり「お年玉募金」をお願いいたします。

今年も昨年に続き、児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちをお支え頂きたく、お願い申し上げます。

カンボジアでは物価が上昇し、夢ホームの運営が大きな財政的負担となっております。そのため「夢ホーム運営基金」を設置致しましたが、一部の方のご協力にとどまっております。

皆様のご支援を心からお願い申し上げます。



書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



本会の会員状況をお知らせいたします

(2018年11月末日現在)

●教育里親会員	314名
●個人会員	105名
●団体会員	6団体
合計	425名(団体)

事務局便り

■第41回「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」(3月7日～13日)の参加者募集を始めました。感動的な子どもたちとの交流・安価な旅行代金(総費用10万円プラスα)・和気あいあいの参加者相互交流・ちょっとしたグルメ旅が好評です。回を増す毎に参加者が増えてきました。お早め申し込みください。

■寒くなってきました。最近体調を崩す会員さんが多くなっています。健康にはくれぐれも留意なさってください。

■2面、クイズの回答は竹筒の中に入っているもち米を蒸した「クローラン」という食べ物です。小腹がすいた時に最適です。一本50円くらいで買えます。

1月～2月の予定

- 会報「アンコールワット」1月1日付第104号発行
- 根岸理事長他数名の会員がカンボジア訪問(1月中旬～下旬)

「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」実施のお知らせ

第40回「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」は会員16人が参加し11月8日～14日に行われました。初めて参加した会員も沢山おられ、有意義な旅でした。

そこで新企画「古都ウドンの観光」を追加して第41回の旅を計画しましたので、会員の皆様奮ってご参加ください。



夢ホームの子どもたちと交流します

【旅の主催】

- 「カンボジア夢ホーム・里子訪問の旅」実行委員会(旅の参加者で構成)
- 本会は従来通り側面からサポートします。

【旅の期間】2019年3月7日(木)～13日(水)(成田到着)

【主な内容】

- 小学校を訪問、井戸の贈呈式に参加、学用品を配布して生徒たちと交流する。
- 本会が教育支援する里子たちの家を訪問、里子たちと交流する。
- 本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」を訪問、子どもたちと交流する。

【参加K対象】

- 本会の教育里親会員、個人・団体会員(入会すれば即参加可能)

【滞在実費概算】

- 5泊7日で滞在費用は350ドル～400ドル程度(4万円～4万5千円程度)
- 《内 訳》部屋代5泊半日で165ドル・交通費・食事代・観光経費で約200ドル。
- 往復航空券(各自手配)成田～プノンペンは5万円～7万円(時期、購入方法により異なる)

【主な日程】

- 3月7日(木)成田11時発(ANA直行便・NH817便)プノンペン行き 午後4時到着→ホテル
- 3月8日(金)小学校訪問、井戸贈呈式・学用品配布・生徒と交流
- 3月9日(土)
 - 《Aコース》悲劇の跡地視察
 - トゥールスレン博物館→キリングフィールド→内戦時代の写真展示レストラン「FCC」(昼食)
 - 《Bコース》カンボジアの古都ウドン観光(昼食)(参加者が少ない場合、中止になることもあります)
 - 《オプションツアー》アンコールワット観光(2名以上で実施)費用はおおよそ300ドルを見込んでいます
 - ※前日国内便で出発→シェムリアップ泊(夕食はアプサラ鑑賞付き)→アンコールワット観光→国内便でプノンペンへ。
- 3月10日(日)児童養護施設「夢ホーム」訪問交流・近隣のスラム街訪問・セントラルマーケット
- 3月11日(月)里子訪問(里親以外の会員も参加できます)2～3人の里子を訪問。日程の都合で他の日に里子訪問をお願いする場合もあり。
- 3月12日(火)《午前》【Aコース】小学校授業参観【Bコース】プノンペン市内観光
- 《午後》自由行動 夜ANA直行便(NH818便)で帰国(機内泊)
- 3月13日(水)午前6時半 成田国際空港に到着



古都ウドン

- ◎航空券は原則個人で手配願います。(インターネットまたは、近くの旅行代理店で購入)
- ◎入国ビザは現地空港で取得します。(30ドルかかります)ビザ申請書含む入国関連書類は、本会作成の記入例に従い機内で記入します(旅の参加者がサポート)
- ◎現地滞在費用は事前に各自ドルで用意願います。◎ホテルの予約、車の手配は実行委員会が行います。
- ◎参加締切日は出発の1ヶ月前(2月7日)、ご希望の方は事務局へ連絡願います。詳細資料を送付します。
- ◎連絡先=NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 ☎03-3991-2854 FAX 03-3557-1213